

事業名：産学官民の連携による「ロハスコミュニティ」の構築と実装 2024年度事業の概要

日本大学 連携市町村：葛尾村・富岡町
現地拠点：双葉郡葛尾村及び富岡町

事業のポイント

「ロハス工学」の研究及び国が提唱する「ライフイノベーション」と「グリーンイノベーション」を包含し、連繋する「ロハスイノベーション」を目指し、それを実装する中で人材を育成し活動するフィールドの場、すなわち産学官民の連携による「ロハスコミュニティ」の構築と実装を行い、5年間を通して浜通り地域等でイノベーションを生み出す高度な人材の長期的な教育・育成の基盤を構築することを目的とする。

2024年度の活動内容

<葛尾村>

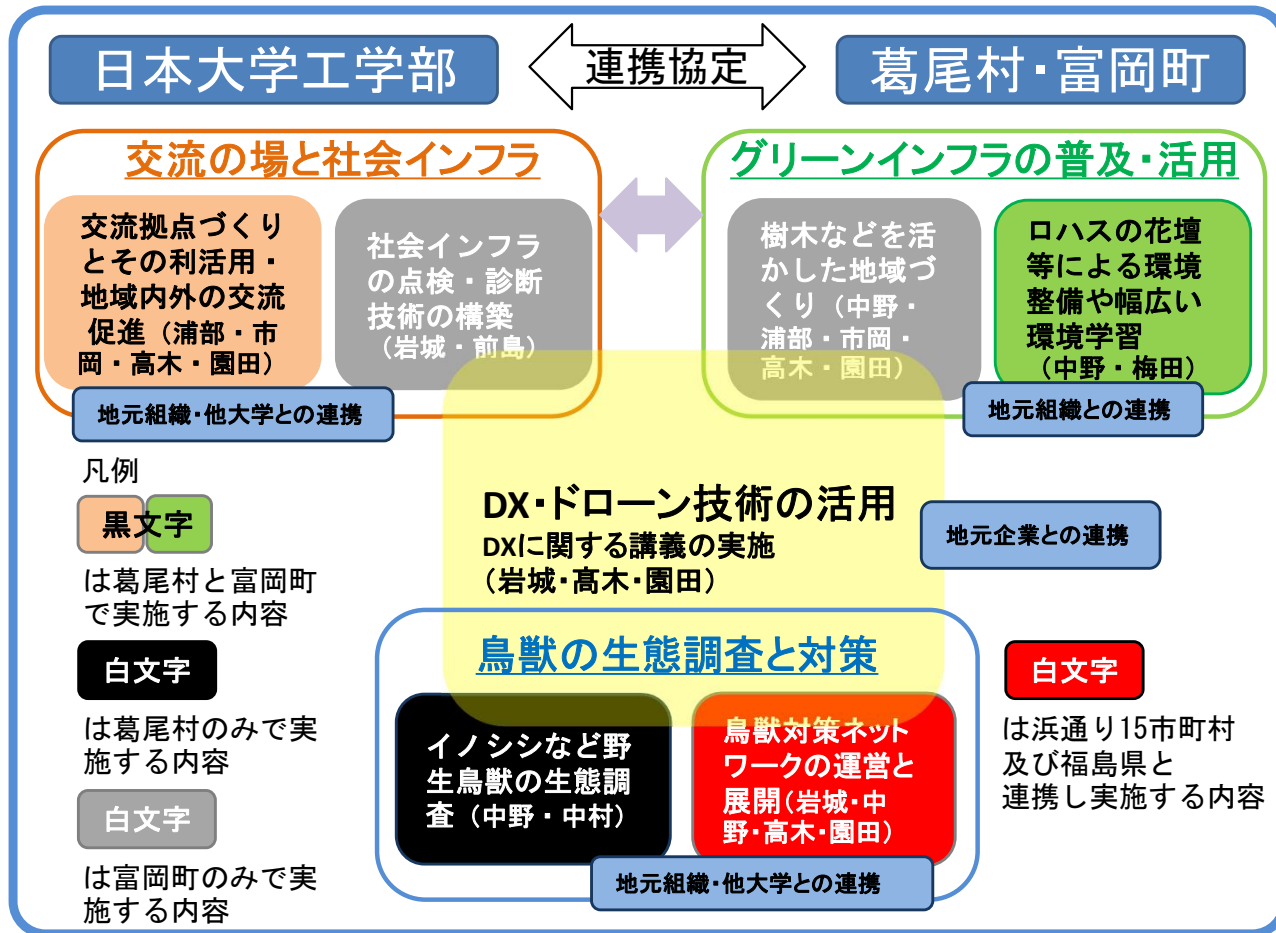
- ・「あぜりあ」を中心とする交流拠点づくりの継続やその活用による地域内外の交流促進
- ・移住定住促進に資する交流の場の提案及び人材育成支援
- ・復興交流館のリニューアルに資する教育・技術的支援
- ・「ロハスの花壇」を活用した汚水の多目的利活用と当該花壇等を活用した環境学習
- ・ドローン等によるイノシシの生態調査の継続

<富岡町>

- ・富岡町の交流拠点づくりと地域内外の交流促進の課題の抽出や提案
- ・富岡町地元企業とのコラボレーションによる人材育成
- ・産学官の連携によるインフラの簡易点検・診断技術の講座
- ・町のシンボルである「桜」の保全・活用や「ロハスの花壇」等グリーンインフラの設置検討等を通じた環境学習

<その他>

- ・浜通り15市町村、県、並びに他大学等と連携した「鳥獣被害対策ネットワーク」の運営
- ・DX、ドローン技術を活用した勉強会・講座等の実施



取り組みによって得られる成果

これらの活動成果を両自治体の役場や村民と共有し、さらに事業をより有効に機能させるため自治体間での情報共有も図る。その結果、健全で持続可能な地域、すなわち「ロハスコミュニティ」の具体化と可能性が示せ、福島への復興に資するまちづくりの実装モデルの構築と地域の人材育成が期待される。